



上中子宅地分譲地 分譲地の売却・賃貸など、どのように検討しているのか



半沢利貞

住宅問題及び定住者促進対策について

住宅問題及び定住者促進対策について

質問

宅地造成地の売却が進まない状況を踏まえ、その後の売却・貸借等の方法の検討はどのようになされ、どのように決定したのか。またマンションの定住者が少数であるが、定住させるべく施策をどのように考えているのか伺います。

町長答弁

昨年10月に販売を開始したが残念ながら成約に至らなかった。

この背景には不況による収入の減、雇用不安等で住宅建築が出来る状況に無い事、土地神話の崩壊によって買い控え感が強い事や、湯沢の中に安い競売物件があり販売価格より安かった事も要因と考えられる。

20歳代から40代の生産年齢層にターゲットをしばらく延納制度を選択できる分譲方法でやった。

都会からのイターン、Uターンに拡大し借地権方式、地上権方式等も検討し、求めやすい環境を造り出す事が大事と考えている。

マンションの定住者は361名であり一人または夫婦、しかもお年寄りが多い。

若い人の定住は雇用の問題があり難しいし、東京まで通勤している人はいないと思う。

バブル崩壊後マンション

質問

私も割安になってきたので、お年寄りの人が来てくれるのは歓迎するが、房総半島のような結果になって介護保険・老人医療費の持出しがある訳だが、全人口の4%の361人という事で町も公民館の利用や入浴料等で第二の住民として門戸を広げている。

私はいつも宅造について借地権方式で地元工務店・大工さんに建築の条件付きで販売すべきと言ってきた。

住民税・所得税・家屋税も取れる。米味噌、酒も醤油も地元で買い求める。町の活性化に繋がる。未だに販売方法も決まっていないなど9億も掛けて造成した土地は不動産屋ならつぶれてしまう。

マンション定住については前議長の高野常久氏、議員であった富沢哲氏らが始発の新幹線で空気を運ぶのではなく低額の定期券の発行

町長答弁

宅地販売については現地を見に来たり問い合わせもあったので、その人たちの声を集約し、借地権の事、単価の事等、議員の皆様とも相談し再販売する。

売り出しました売れませんでしたという訳に行かないので慎重に取り組む。

新幹線の定期券については私もガラの取締役でするので交渉したが、JRは上越線だけでなく、JR東日本としてはここだけ安くする訳にはいかないと答えて

みた。したが、今後も交渉してみる。

一

般

質

問